

# ぎふ感染症かわら版

平成 28 年 8 月 25 日 岐阜県感染症情報センター（岐阜県保健環境研究所）



## 麻しん（はしか）に注意しましょう！

7月下旬から8月21日にかけて、千葉県内で10人の麻しん患者が報告されました。検査の結果から、海外から持ち込まれたウイルスによるものと考えられています。

国内の麻しん患者数は、近年減少していますが、**海外で感染して帰国した人や、その人から感染した人**などが報告されています。

いったんウイルスが国内に持ち込まれると、免疫のない人の中で感染が広がり、大きな流行を起こす可能性もあるため、注意が必要な感染症です。

麻しん患者の報告数（人）

	全国	岐阜県
2010年	447	7
2011年	439	3
2012年	283	6
2013年	229	0
2014年	462	3
2015年	35	1
2016年*	19	0

\*全国：1/4～8/14、岐阜県：1/4～8/21

### どんな病気？

麻しんウイルスの感染による全身の感染症です。

**約10日の潜伏期**の後、発熱・咳・鼻水など**かぜのような症状**が出て、**2～3日熱が続いた後、高熱と発疹**が現れます。

肺炎や脳炎、感染後数年経ってから発症する亜急性硬化性全脳炎など、重篤な合併症を起こすこともあります。

**感染力が非常に強く、空気感染**によっても広がるため、マスクや手洗いで予防は難しく、麻しんに対する免疫を持たない人がウイルスにさらされると高い確率で感染します。

### 予防接種を受けましょう！

麻しんの唯一の予防法はワクチン接種です。

**定期接種の対象者**は確実に接種しましょう。これまでに**予防接種を受けたことのない人**は、かかりつけの医師に相談し、接種することも考えてみましょう。

流行を防ぐためには、一人でも多くの方がワクチンを接種することが大切です。

### 麻しん定期接種対象者



第1期	1歳以上2歳未満
第2期	5歳以上7歳未満であって 小学校就学前の1年間 (いわゆる年長児)



保育所や幼稚園、高齢者施設など、希望される施設に対して「ぎふ感染症かわら版」のメール配信もおこなっています。くわしくは岐阜県感染症情報センターホームページをご覧ください。

岐阜県感染症情報センター

